

# 中学生のスピーキング力向上を目指した指導に関する一考察

—小集団におけるファシリテーターの働きに焦点をあてて—

池岡 慎 築道 和明 兼重 昇 川野 泰崇 千菊 基司  
多賀 徹哉 田中 秀太郎 久松 功周 福澤 健  
松尾 砂織 米澤 幸子 (研究協力者) 江 婉 張 子鳳  
Heidi Bisteth

## 1. はじめに

日本人英語学習者のスピーキング力については、その実態についても、また教室での指導においても多くの課題が指摘されている(たとえば文部科学省 2016<sup>1)</sup>)。こうした課題の背景には、Harumi (2011)<sup>2)</sup> が分析しているように日本人英語学習者に内在する心理的な要因もあるだろうし、発話内容を概念化し、目標言語での記号化を行い、音声化へと至る作業を瞬時に行う必要のあるスピーキングのメカニズム自体にも超えるべきハードルが多く存在していることも関与しているだろう。

中学校の英語授業でのスピーキング活動においては、ベネッセ(2016)<sup>3)</sup> に示されているように、ペアやグループ(以降、小集団)での生徒同士による英語を用いた相互作用が一般的であり、学習者同士のスピーキング活動に第三者が関与して言語活動を行った場合、学習者のみでの相互作用の場合と比較して英語の発話内容に変容があるのか否かを調査した研究は多くはなされていない。

そこで、本研究では、後述するように、小集団でのスピーキング活動に発話を促進するファシリテーターとして日本人英語教員、外国人(留学生を含む)英語話者の二者を設定してファシリテーターの発話が学習者の発話にどう影響するかを中心に調査を行う。その際、ファシリテーターが関与しない学習者だけで編成される小集

団を設定し、それとの比較を行い、ファシリテーターの発話を一定の類型に基づいて分類し、その発話が学習者の発話にどのように影響するかを量的、質的に分析する。これらの分析結果から、スピーキング活動における scaffolding の在り方について、とりわけ教員側の適切な関与の在り方について考察を行う。

次期学習指導要領の改訂においても、英語でのコミュニケーション活動においては、その目的・場面・状況等を考慮して、学習者が自らの考えや意見等を積極的に発話することができるための指導がより一層求められてくるだろう。本研究の結果が、今後の英語授業のあり方について一定の方向性を提案できることになれば幸いである。

## 2. 本研究の目的

本研究は、中学生のスピーキング活動におけるファシリテーターの働きに注目し、その発話の特徴とそれが学習者の発話にどのように影響するかについて、日本人英語教員、外国人英語話者および学習者がファシリテーター役を担う小集団を設定し、調査結果を量的・質的に分析することにより、今後のスピーキング指導の在り方の方向性を提案することを目的とする。

## 3. 調査方法

(1) 対象学年とクラス

---

Shin Ikeoka, Kazuaki Tsuido, Noboru Kaneshige, Yasutaka Kawano, Motoji Sengiku, Tetsuya Taga, Shutaro Tanaka, Narichika Hisamatsu, Takeshi Fukuzawa, Saori Matsuo, Sachiko Yonezawa, Wan Jiang, Zhang Zifeng and Heidi Bisteth: Effects of Small-Group Facilitators on Speaking Performance of Junior High School Students

中学3年生の1クラス41名（男子20名、女子21名）

#### （2）ファシリテーターの構成

当校の日本人英語教員3名と外国人英語話者3名で構成した。なお、生徒のみの小グループでの活動に際しては、リーダーを決定し、その生徒がファシリテーターとしての役割を担うことにした。

#### （3）小グループの決定

1つの小グループを4～5名とし、男女混合、定期考査および実用英語技能検定の取得級によりバランスよく9つの小グループを編成した。

なお、各小グループは、3回の調査において、ファシリテーターが日本人英語教員、外国人英語話者、学習者のみの調査をすべて経験するようにした。

#### （4）調査日

調査は、以下の日程で行った。

第1回 2016年10月25日（火曜日）

第2回 2016年11月15日（火曜日）

第3回 2016年11月29日（木曜日）

#### （5）実施場所

調査は、異なる形態の小グループが、互いに影響を受けないように離れた場所で行った。



図1 日本人英語教員がファシリテーターをしている様子



図2 外国人英語話者がファシリテーターをしている様子



図3 学習者がファシリテーターをしている様子

#### （6）ファシリテーター用のマニュアル

各ファシリテーターには、調査の手順が均一的なものになるようにマニュアル（資料1）を作成し、事前に指導時の学習者への関わり方などについて共有を図った。なお、1時間の調査展開と使用時間、目的については以下のとおりである。

##### ① Let's talk! （7分間）

調査に入る前に、⑥のディスカッションで、英語での意見交換を行う準備として取り入れた。題材に関連する1枚の絵や写真を見て、簡単な意見交換をさせた。

##### ② Silent Reading （3分間）

⑥のディスカッションに直接関係するものであり、内容理解に集中させ、自分が理解できないところを明らかにするために黙読させた。

##### ③ Solving Problems （3分間）

②のリーディングでの課題を、ファシリテーターや互いの協力で解決させた。

##### ④ Q & A （7分間）

②の内容理解を確認した。それぞれの発問は生徒のタスクシートには書かれておらず、口頭により行われた。なお、生徒のみによる小グループには、リーダー役に解答を配布し確認させた。

##### ⑤ T or F Questions （5分間）

④の内容理解を確認したところで、**T or F Questions** を行った。本来、この活動は④よりも前に行うことがよいと考えられる。しかし、英文がタスクシートに書かれており、単に**T or F**を解答するのではなく、間違いの箇所を指摘し、訂正する活動を伴うことから、次のディスカッションに向けて、発言しやすい環境を作る目的で**Q & A**のあとに設定した。

##### ⑥ Discussion （15分間）

ディスカッションでは、内容に関する意見交換と自分の立場で発言をするといった2つの

タスクを設定した。また、ディスカッションは10分間であるが、その前に自らの意見を準備するための時間を5分間設けた。このことにより、より活発なやりとりを期待した。なお、生徒用の冊子（資料2）は、ファシリテーター用のマニュアルをもとに作成し、調査時に配布した。

#### （7）題材

調査で使用したディスカッションのための題材は、以下のとおりである。

#### 第1回 We Can Change Our World

（アフリカの少年が電気を作る装置を独学で作る話）現在利用している教科書<sup>4)</sup>から。

#### 第2回 WHY JAPANESE PEOPLE?

（お笑い芸人の厚切りジェーソンによる日米の夏休みの話）英字新聞のエッセイ<sup>5)</sup>から。

#### 第3回 Shin's Love

（恋の悩み相談）活動事例集<sup>6)</sup>から。

いずれも、生徒にとってなじみがあり、興味を持つテーマと判断したものである。

#### （8）調査の記録

本調査の記録は、小集団ごとにボイスレコーダー配布して、前述した展開の①Let's talk!と⑥Discussionを各小集団で録音させた。

#### （9）分析対象と分析の視点

分析は、第3回目の⑥Discussionの録音音声を対象に、（1）量的分析と（2）質的分析を行った。なお、第3回目を対象としたのは、各小集団が日本人英語教員または外国人英語話者がファシリテーター役の調査を、少なくとも1回は経験していることが望ましいと判断したからである。

量的分析では、ファシリテーターと学習者の発話量の比較を行った。質的分析では、ファシリテーターがディスカッション時にどのような意図で発話したかを把握するため、分類表を作成し、それに基づいて分析を行った。さらに、ファシリテーターの発話により、学習者や学習者同士の発話が活性化した箇所を抽出し、その特徴を確認するために会話分析を試みた。

## 4. 結果と考察

### 4.1 アンケート調査

第3回目の調査終了後、以下の項目に関するアンケート調査（資料3）を実施した。

1. 授業や学習形態に関する質問
2. 使用教材（題材・テーマ）に関する質問
3. ディスカッション時の英語教師の役割に

### 関する質問

表1 調査後のアンケート調査結果（%）

回答番号	1. 授業形態		2. 教材	3. 教師の役割	
	効果	影響	テーマ	不在時	影響
①	0.00	20.70	26.80	12.20	14.60
②	7.30	28.00	24.40	65.90	7.30
③	17.10	4.90	46.30	22.00	75.60
④	75.60	9.80	2.40	0.00	0.00
⑤	0.00	36.60			0.00
⑥	0.00	0.00			

結果から、学習者は、スピーキング能力を高める形態として最も効果があるのは、「外国人英語教師1名が小集団に行く授業」（75.60%）であり、その存在の影響は大きい（36.60%）と感じている。

ディスカッションに対する題材に関しては、Shin's Loveに対する興味関心が最も高かった（46.30%）。理由としては、一番身近に感じられたという意見が多かった。

ディスカッション時の英語教師の役割に関する項目では、教師不在にも関わらず、「なんとかディスカッションができた」（65.90%）と割合が高かったのは、回答理由から、題材に対する興味関心の影響があると推察できる。なお、若干ではあるが、日本人英語教員の役割の大切さ（14.60%）を選んだ学習者がいるが、どのような場面については、回答に「困ったときに、日本語で助けてくれた。」という記述があり、英語を使ってコミュニケーション活動をする上で、学習者の不安を取り除くために何らかの工夫が必要かもしれない。

### 4.2 ファシリテーターと学習者の発話量の比較

それぞれの発話量は、実発話をカウントした。実発話<sup>7)</sup>とは、学習者が実際に発したすべての発話のうち、単純な繰り返し・自己訂正を含めた繰り返し・言いよどんだ時に発するつなぎ語などを除いたものである。

例) so he {decides}{decided} decided to go fishing. (Foster et al. (2000) p.368)

この発話は8語であるが、実発話としては、{ }の発話は削除された6語となる。なお、学習者のみの小集団には学習者がファシリテーターの役割を果たしている場合は、英語に限ってカウントした。

以下の表2の数字は、発話量の平均（%）を

表している。平均にしたのは、立場の異なるファシリテーター間での発話量を比較するためである。横列の J は日本人英語教員、F は外国人英語話者、S は学習者を表し、さらに、縦列の T (ST) は教員 (教員役)、S は学習者を表している。

表 2 ファシリテーターと学習者の発話量の比較 (%)

	J	F	S
T(ST)	76.40	68.60	24.20
S	23.60	31.40	75.80
Total	100.00	100.00	100.00

表 2 から、日本人英語教員も外国人英語話者も、ファシリテーターとしての発話量がかなり多いということがわかる。これは、ディスカッションを進める上で、教師が積極的に学習者にアプローチしていることを示している。なお、学習者のみの小集団において、ファシリテーター役の発言が少ないのは、メンバーの誰かがリーダーシップを発揮するというより、それぞれのメンバーがやり取りをしながらディスカッションを進めたためと推察できる。これは、普段の授業における小集団の活動でもよく見られることである。

#### 4. 3 ファシリテーターの発話の分類

ファシリテーターの発話の質を分析するにあたり、録音データから分類を試みた (表 3)。

表 3 ファシリテーターの発話の分類

<b>A 1</b>	<b>学習者の行動を促す発話</b>
内容) 全体への指示や生徒への個別対応など	
例) Could you tell us your idea?	
<b>A 2</b>	<b>学習者に自信を与える発話</b>
内容) 同意・励ましなどの評価行動	
例) I think it's a good point.	
<b>B 1</b>	<b>議論への参加に対するマネージメントのための発話</b>
内容) 1. 沈黙の回避 2. 共通認識ができているかの確認や説明	
例 1) Don't be shy.	
例 2) Do you think so, too?	
<b>B 2</b>	<b>思考を深める発話</b>
内容) 反論・質問など	
例) What would you do if you have the same problem?	

まず、(A) 通常の教室での授業 (一斉授業) での発話と (B) 本調査の言語活動に特有なもので分け、さらに、下位項目として A 1 : 生徒の行動を促す発話、A 2 : 生徒に自信を与える発話、B 1 : 議論への参加に対するマネージメントのための発話、B 2 : 思考を深める発話と下位項目を設けた。

以下の表は、上記の分類を基に、ファシリテーターの発話の特徴をまとめたものである。

表 4 ファシリテーターの発話の特徴 (回数)

	J	F	SE	SJ
A1	10.67	33.00	7.50	8.00
A2	13.67	16.67	1.50	2.50
B1	68.33	14.00	4.50	0.50
B2	17.00	17.67	3.50	3.00

表中の数字は、分類されたファシリテーターの実発話数の平均を表している。平均にしたのは、立場の異なるファシリテーター間での発話の質を比較するためである。横列の J は日本人英語教員、F は外国人英語話者、SE は、ファシリテーター役を果たした学習者が英語を使用した実発話数の平均、SJ は、日本語を使用した実発話数の平均を表している。

結果から、特徴的なことは、日本人英語教員は B 1 の発話 (議論への参加に対するマネージメントのための発話) が多く、外国人英語話者は A 1 の発話 (学習者の行動を示す発話) が多いことである。これは、ディスカッションに対して、日本人英語教員は、学習者を集団としてまとめることに、外国人英語話者は、個人の意見を引き出すことに意識が働いていると推測できる。

学習者のみの小集団では、A 1 は多いが、全体の実発話数の少なさから、ディスカッションそのものが破たんしてしまっていることがうかがえる。なお、この小集団は、第 1 回目、第 2 回目の調査において、日本人英語教員と外国人英語話者がファシリテーターの役割を果たした調査を経験しているが、ほとんど参考にはなっていないようである。

A 2 (学習者に自信を与える発話) と B 2 (思考を深める発話) については、日本人英語教員と外国人英語話者の両方ともに数が少ないことも特徴的である。ディスカッションの質を高めるためには、B 2 の数を増やすことが大切だと

考えられるが、そのためには、前提として、A 2の発話を増やし、学習者自らが積極的に発話する雰囲気づくりが必要ではないだろうか。このことについては、今後の課題であろう。

#### 4. 4 会話分析

以下は、ディスカッション時におけるファシリテーターと学習者のやりとりの一部に4. 3 (表3) の分類を基にラベリングしたものである。

#### 事例1 日本人英語教員がファシリテーターの場合

発話者	発話内容 (ファシリテーターは日本人英語教員)	ラベリング
F	中略) How about you, S4?	B1
S1	I am shy, so I practice talking and try to conversation.	
F	So you took S5's advice?	B1
	What is the first word? How can you start your conversation with her?	B2
S1	Hello.	
F	Hello! What's next? How is the weather?	B1
S1	What food do you like?	
F	Oh, what food do you like?	B1
	OK, very good question.	A2
	What question, or what kind of greeting is good to start a conversation?	B2
	What food do you like?	B1
	This is a good start.	A2
	What else would you ask? Do you have any idea?	B1
S2	Are you hungry?	
F	Are you hungry?	B1
	And then, if she says yes, what would you do?	B2
S2	Give something.	
F	Something, here you are, sandwich.	B1
	OK, very good.	A2
	What kind of question would you like, S5?	B1

日本人英語教員のB1 (議論への参加に対するマネージメントのための発話) の発話が非常に多いことは4. 3 (表3) で述べたが、事例1の会話内容を見ると、B1とA2 (学習者に自信を与える発話) を使いながら、学習者からの発話を引き出そうとしていることがうかがえる。しかし、同時に、ファシリテーターの発話量が多いことで、学習者の発話の機会が奪われているようにも思われる。

#### 事例2 外国人英語話者がファシリテーターの場合

発話者	発話内容 (ファシリテーターは外国人英語話者)	ラベリング
S2	I suggest him to tell his friend that he likes .	
F	To do what?	B2
S2	To tell his friends that he likes	
F	He should talk to his other friends, OK?	B1
S2	Cooperated by them.	
S1	Make chance to talk to her	
F	All right.	A1
F	S3, do you have any advice to give him?	A1
S3	Completely the same with her.	
F	Yes, he needs more advice than that.	A1
F	So you need give another advice.	A1
S3	Try to if the chance comes and... for example, S, treat everything ,and into same she try to ask her friend to go together.	
S	Maybe he can talk to her and being the friend ....	
F	I think that's very good advice.	A2

上記事例2からわかることは、A1 (学習者の行動を促す発話) の多用により、学習者の発話量が増えていることである。このファシリテーターは「アドバイスがあるか」との問いかけに対する学習者の発話が不十分だと判断し、さらに同じ学習者に問いかけをすることで、最終的に学習者から多くの発話を引き出すことに成功している。

#### 事例3 学習者がファシリテーターの場合

発話者	発話内容 (ファシリテーターは学習者)	ラベリング
S1/F	What's your advice for him, S2?	A1
S2	え〜 I think he should wait her every morning.	
S1/F	Ummmm....and?	B2
All	(laugh)	
S2	What? え?何?	
S/F	That's all?	B2
S2	OH!	
All	(laugh)	
S3	S3:え、あ、あ、あ.....I think he should take kinds and talk to her.	
S1/F	Ummmm....and?	B2
All	(laugh)	
S1/F	And? And? And? .....talk to her and ? and?	B2
S3	and, and.... (laugh) talk to her and get her phone number.	
All	(laugh)	

事例3では、学習者がファシリテーター役となって会話が展開されている。意外にもB2が多く見られ、議論が深まるかのようにも思えるが、実際には、“And?”ばかりで、ほとんど機能していない。また、発話内容へのコメントなどもほとんど見られない。周りの反応を面白がって発話している生徒が、この活動を「支配」してしまい、同じ内容の発話を繰り返しているだけである。今後、質の高い発話を引き出すためには、ファシリテーターだけでなく、ディスカッションそのものの進め方を示した生徒用のマニュアルが必要であろう。

## 5. 成果と課題

本研究では、小集団におけるファシリテーターの働きに注目し、その発話の特徴とそれが学習者の発話にどのような影響を与えるかについて、ファシリテーターの異なる条件下で、調査結果を基に、ファシリテーターと学習者の発話を量的・質的に分析し、今後のスピーキング指導の在り方の方向性を提案することを目指した。

結果として、日本人英語教員、外国人英語話者ともに学習者への発話量の多さはあるものの、ディスカッションで求められる学習者の思考の深まりを促す働きは確認できなかった。しかし、会話分析から、ファシリテーターの発話の量と質のバランスを工夫することにより、学習者から発話を引き出し、思考の深まりを促すきっかけを与えることができる可能性があることは確認できた。

今後は、ほとんどの学習者がファシリテーターの役割に差は感じていないという調査結果(表1)を踏まえ、今回の調査において、発話回数が少なかったA2「学習者に自信を与える発話」やB2「思考を深める発話」(表3)に焦点を当てた調査・分析を課題としたい。

## 6. おわりに

一斉授業の中で、生徒に自分の意見を述べる場を与え、自由に議論させることは、たとえ小集団での活動であっても、題材に対する興味関心、学習者の性格や日常生活の中での人間関係など、英語力やファシリテーターの存在以外にもさまざまな要因が絡み合い、非常に難しいものである。しかし、ファシリテーターとして、どのような *scaffolding* をすれば学習者の発話

がより深い思考のやりとりになるのか、中学生のスピーキング力向上に向けてさらに試行錯誤を重ねた研究を継続していきたい。

## 引用(参考)文献

- 1) 文部科学省(2016)『平成27年度 英語教育改善のための英語力調査事業(中学校)報告書』
- 2) Harumi, S. (2011). Classroom silence: voices from Japanese EFL learners. *ELTJ*, 65, 3, 260-269.
- 3) ベネッセ教育総合研究所(2016)『ダイジェスト版 中高の英語指導に関する実態調査2015』
- 4) *NEW CROWN 3 ENGLISH SERIES* (平成27年検定済) 東京:三省堂, pp.104-107
- 5) *Asahi Weekly* (2016), No. 2232, p.14 朝日新聞社
- 6) 三浦孝・中嶋洋一・池岡慎(2006)『ヒューマンな英語授業がしたい』研究社出版, p.76
- 7) Foster, P., Tonkyn, A., & Wigglesworth, G. (2000). Measuring spoken language: A unit for all reasons. *Applied Linguistics*, 21, 354-375.

資料 1 ファシリテーター用のマニュアル

**For Facilitator**

Research Plan 2016/11/29 No.3

**1. Let's talk! (7 minutes) (Recording)**

\*Do you want to have a boyfriend/ girlfriend? What is your type?  
Where do you want to go on a date with him/her?... etc.

2. Silent Reading (3 minutes)

3. Solving Problems (3 minutes)

4. Q & A (7 minutes)

5. T or F Questions (5 minutes)

**6. Discussion (15 minutes) (Recording)**

\*40 minutes in total

1

2. Silent Reading (3 minutes)

Shin's Love

—Please Give Him Your Kind Advice—

Shin's Letter

Dear Sir/Madam,

Hello. I am a junior high school student. I am in the 3<sup>rd</sup> grade. I have been unhappy recently. I cannot sleep well. I cannot study at all. I often day-dream in class. So I have got poor marks in the exam.

All is because of my one-sided love. Every morning, when I take my train at Okayama Station, I find her on it. She is so pretty and attractive. Her smile is so sweet! She is like an angel.

My problem is that I am extremely shy. I have never spoken to girls. When I try to speak to girls, my tongue stammers and my face turns red. Every morning I stand a little away from her, with my heart beating fast. I have spent almost one year in this way. She never knows how I love her.

I want to speak to her. I want to ask her to be friends with me. But I don't know how to start a conversation. In a few months I am finishing junior high school, so I am growing impatient. I must do something. Please give me your kind advice.

Sincerely Yours,  
*Impatient Shin*

出典『ヒーローマンな英語授業がしたい!』研究社出版 2006 p.74(改)

2

4. Q & A (7 minutes in total)

Now, I ask you 5 questions. OK? ....

\*Facilitator can give students some hints.  
e.g. Look at the 3<sup>rd</sup> paragraph. You can get the answer.  
\*You can ask some students like 'Do you agree with him?'

Question 1. Why has Shin been unhappy recently?  
Because he has a problem about his one-sided love.

Question 2. What is the girl that Shin loves like?  
She is so pretty and attractive. Her smile is so sweet.  
She is like an angel.

Question 3. What is Shin's problem?  
He is extremely shy, so he cannot speak to girls.

Question 4. What is happening to his heart when he stands a little away from the girl Shin loves?  
It is beating fast.

Question 5. What does he want when he speaks to the girl?  
He wants to ask her to be friends with him.

\*After the Q & A, please ask students if they have any questions.

3

5. T or F Questions (5 minutes)

\*Please give students for 3 minutes, and ask them the answers.

\*Answer the following questions with T (True) or F (False).  
And underline the errors and correct them.

( T ) Question 1. Shin has a bad record at school because he doesn't study at all.

( F ) Question 2. Shin fell in love with a girl he found on a bus in Okayama. train

( T ) Question 3. Shin pauses a lot and repeats sounds when he tries to speak to girls.

( F ) Question 4. Shin has spent almost one year with his face turning red. heart beating fast

( F ) Question 5. Shin wants to know how to have a date with the girl he loves. start a conversation

4

**6. Discussion** (15 minutes in total) (Recording)  
(5 minutes for preparation, 10 minutes for discussion)

**\*You are the staff of the advice column. First, write your advice for Impatient Shin. Then, start discussion. (10 minutes)**

**Questions for Discussion:**

- ① What's your advice for him?
- ② What will you do if you have a same/similar problem?  
\*If you are a girl, Shin is you, and a girl that Shin loves is a boy.

e.g.) You should start ...

Now, you've read about Shin's problem. Then let's share your advice about it?

To facilitators,

Most important point is to encourage students to speak out.

Thank you for your cooperation.

5

## 資料2 学習者用のタスクシート

### はじめに Introduction

※指示があるまで次のページを見ないでください。  
Don't look at the next page until the instructions.

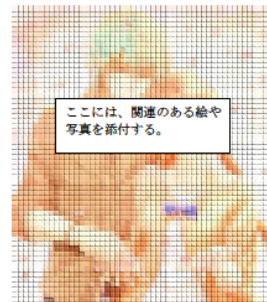
※普段の授業とは異なる形式ですが、リラックスして積極的に参加してください。  
Relax and enjoy this special class.

※必要であれば、この冊子やノートにメモを取ったり、辞書を引いたりもしてかまいません。  
You can take notes on this sheet or use your dictionary if necessary.

3年A組\_\_番 名前\_\_\_\_\_

授業後に回収します。(それぞれの先生に渡してください)  
Please submit this work sheet to your teacher after the class.

### 1. Let's Talk! \*7 minutes



※指示があるまで次のページを見ないでください。  
Don't look at the next page until the instructions.

1



2. Silent Reading \*3 minutes ※以下の語句や辞書を使用してもよい。  
You can use your dictionary.

Shin's Love

— Please Give Him Your Kind Advice —

Shin's Letter

Dear Sir/Madam,

Hello. I am a junior high school student. I am in the 3<sup>rd</sup> grade. I have been unhappy recently. I cannot sleep well. I cannot study at all. I often day-dream in class. So I have got poor marks in the exam.

All is because of my one-sided love. Every morning, when I take my train at Okayama Station, I find her on it. She is so pretty and attractive. Her smile is so sweet! She is like an angel.

My problem is that I am extremely shy. I have never spoken to girls. When I try to speak to girls, my tongue stammers and my face turns red. Every morning I stand a little away from her, with my heart beating fast. I have spent almost one year in this way. She never knows how I love her.

I want to speak to her. I want to ask her to be friends with me. But I don't know how to start a conversation. In a few months I am finishing junior high school, so I am growing impatient. I must do something. Please give me your kind advice.

Sincerely Yours,

Impatient Shin

(207 words)

出典 『ヒューマンな英語授業がしたい!』 研究社出版 2006 p.74 (改)

2

3. Solving Problems \*3 minutes

※この時間を使ってわからないところを(先生や友達に)質問してください。

You can ask your teacher or friends if you have any questions.

※このあとに、4. Q & A の活動を行います。

In 5 minutes your teacher will ask you 5 questions.

※質問は、口頭で行われます。指示にしたがって解答してください。

You should answer them in English.

3

4. Questions and Answers \*7 minutes

※内容理解に関する質問をします。口頭で解答してください。

Your teacher will ask you 5 questions about the essay, so you should answer them in English.

Question 1

Question 2

Question 3

Question 4

Question 5

※Q & A が終了後、内容に関して質問があれば先生にしてください。

After the Q & A, please ask students if they have any questions.

※Q & A が終わるまでは、次のページを開かないでください。

Don't look at the next page until the instructions.

4

5. T or F Questions \*3 minutes + 2 minutes (check the answers)

※以下の問題に答えなさい。解答は( )に直接書いてください。間違っている箇所アンダーラインを引いて訂正してください。

\*Answer the following questions with T (True) or F (False).  
And underline the errors and correct them.

( ) Question 1. Shin has a bad record at school because he doesn't study at all.

( ) Question 2. Shin fell in love with a girl he found on a bus in Okayama.

( ) Question 3. Shin pauses a lot and repeats sounds when he tries to speak to girls.

( ) Question 4. Shin has spent almost one year with his face turning red.

( ) Question 5. Shin wants to know how to have a date with the girl he loves.

※指示があるまで次のページを見ないでください。

Don't look at the next page until the instructions.

5

6. Discussion \*15 minutes in total  
( 5 minutes for preparation, 10 minutes for discussion )

※質問は2つ。  
Your teacher will ask you two questions.

※You are the staff of the advice column. First, write your advice for Impatient Shin. Then, start discussion. (10 minutes)

- ① What's your advice for him?
- ② What will you do if you have a same/similar problem?  
\*If you are a girl, Shin is you, and a girl that Shin loves is a boy.

5分間の準備時間を与えます。その間に、自分の答えを準備します。  
You can use 5 minutes for your preparation.

本文を読み返したり、辞書を引いたり、メモをとってもかまいませんが、発表するときに原稿をそのまま読んではいけません。  
Don't look at the writing when you speak.

他のメンバーの意見もよく聞いて、意見交換ができるようにします。  
You should listen to your members well and exchange opinions actively.

6

### 資料3 アンケート調査

平成 28 年度学部・附属学校共同研究

#### アンケート調査

本調査は、10月25日、11月15日、11月29日の3回にわたり実施された授業に関するものです。以下の質問に答えてください。なお、回答は本研究以外の目的には使用しません。各質問の【1】から【6】はカードの回答番号になります。  
記述が必要なところも、必ず回答してください。

#### 1. 授業(学習)形態に関する質問

【1】スピーキング能力を高めるために、最も効果があると思う授業(学習)形態を1つ選んで答えてください。

- ① 日本人英語教師1名が生徒40名程度に行う授業  
② 日本人英語教師1名と外国人英語教師1名が協力して生徒40名程度に行う授業  
③ 日本人英語教師1名が小集団5名程度に行う授業  
④ 外国人英語教師1名が小集団5名程度に行う授業  
⑤ 教師がいない小集団5名程度で行う授業  
⑥ その他 [ ]

【2】【3】スピーキング能力を高めるために、影響があると思うものを2つ選んで答えてください。

- ① 自分の性格  
② 同性(友人)の存在  
③ 異性(男女)の存在  
④ 日本人英語教師の存在  
⑤ 外国人英語教師の存在  
⑥ その他 [ ]

#### 2. 使用教材(題材・テーマ)に関する質問

【4】ディスカッションの教材(題材・テーマ)として、最も適当だと思ったものを1つ選び、その理由を答えてください。また、他に適当だと思うテーマを書いてください。(「～に関するもの」で良い)

- ① We Can Change Our World (アフリカの少年の実話)  
② WHY JAPANESE PEOPLE? (厚切りジェーソンの日米の夏休みの話)  
③ Shin's Love (恋の悩み相談へのアドバイス)  
④ 今回は該当するものがなかった。  
⑤ ④を選んだ場合は「理由」は書かなくてよいが、適当だと思う題材・テーマは書いてください。

理由 [ ]

適当だと思う題材・テーマ [ ]

#### 3. ディスカッション時の英語教師の役割に関する質問

【5】小集団で英語教師不在のディスカッションについて、最も当てはまるものを1つ選んでください。

- ① 十分なディスカッションができた。  
② なんとかディスカッションができた。  
③ ほとんどディスカッションができなかった。  
④ まったくディスカッションができなかった。

理由 [ ]

【6】小集団で英語教師が進行役としてディスカッションを行うことについて、最も当てはまるものを1つ選び、どのような場面でそう感じたかを具体的に記述してください。

- ① 日本人英語教師の役割は大きいと感じた。  
② 外国人英語教師の役割は大きいと感じた。  
③ 日本人英語教師と外国人英語教師、両方ともに役割は大きいと感じた。  
④ あまり大きい(影響がある)とは思わなかった。  
⑤ その他 [ ]

場面 [ ]

ご協力、ありがとうございました。

# 要 約

中学生のスピーキング力向上を目指した指導に関する一考察  
—小集団におけるファシリテーターの働きに焦点をあてて—

本研究は、中学生のスピーキング活動におけるファシリテーターの働きに注目し、その発話の特徴とそれが学習者の発話にどのように影響するかについて、日本人英語教員、外国人英語話者および学習者がファシリテーター役を担う小集団を設定し、調査結果を量的・質的に分析することにより、今後のスピーキング指導の在り方の方向性を提案することを目的とした。結果として、日本人英語教員、外国人英語話者ともに学習者への発話量の多さはあるものの、ディスカッションで求められる学習者の思考の深まりを促す働きは確認できなかった。しかし、会話分析から、ファシリテーターの発話の量と質のバランスを工夫することにより、学習者から発話を引き出し、思考の深まりを促すきっかけを与えることができる可能性があることは確認できた。今後は、今回の調査において、発話回数が少なかった「学習者に自信を与える発話」や「思考を深める発話」に焦点を当てた調査・分析を課題としたい。

## Effects of Small-Group Facilitators on Speaking Performance of Junior High School Students

The aim of this research is to propose how the instruction on speaking activities can be effective by focusing on the role of a facilitator. In this research, a Japanese teacher, a foreign language speaker and a junior high school student played the role of the facilitator in a group of junior-high students. The facilitators' utterances produced in the groups were analyzed by both qualitative and quantitative ways. As a result, the majority of the facilitators succeeded in letting the students speak out, but their work wasn't sufficient enough to deepen the students' thoughts. However, this research suggests that the facilitators can help students to speak out and deepen their thoughts by using adequate types of facilitation, which encourages the students to speak out and allows them to deepen their thoughts.